

自治会活動の活性化をめざして

深津自治会推進委員会

事業費 82,388 円

助成額 65,000 円

●当初の課題・事業目的

深津町自治会において地域での人間関係が希薄になりつつあり、役員のなり手がなく、役員の高齢化が進んでいるので、自治会の存続が今後危ぶまれる。

長期的課題に取り組む組織「推進委員会」のなかで、未加入の地域住民に対しても自治会活動の必要性を感じてもらうために、参加型自治会の取り組みを進め、今後のコミュニティ活動の活性化や住民自治のあり方を検討する。



委員長 和田 健二

●事業概要

深津町自治会の会員に加え、近隣の大学生に協力をお願いして、情報交換を行い、親子で参加できるイベントを企画して開催した。

四季に行う伝統行事を企画・開催してきたが、今年度は新たにハロウィンイベントを取り入れ、幼児参加に対して、年齢制限をせず、保護者の付き添いをお願いしたところ、幼児の参加が増えた。子どもがいないところでは、子どものイベントに参加がなかったので、近くに住むお孫さんの参加を推し進めた結果、6名のお孫さんと両親、三世代の参加があり、和やかな交流がみられた。クリスマスイベントは子どもの参加申込みが42名となり、締め切り後の参加申込みがあったが準備の関係で断りを入れた。今後の広報のやり方を検討する。



●事業の成果・工夫した点

子どものイベントの参加申込みの内容を出来るだけ簡単なものとし、保護者同伴の0歳児の参加もOKとした。深津会館はどこにあるのかと聞く保護者のために、地図などを添付することにした。大学生の考えを取り入れて、新たなイベントを企画・開催した。

住民5名が新たに自治会に加入され、また、3名の方に新規役員になっていただいた。

●苦勞した点・今後の課題

紙面での申込みには、どこに申し込んだら良いかわからないという意見もあり、来期はLINEを使って申込みを行おうと考えている。

推進委員会でLINEを立ち上げて、保護者が簡単に情報を取り入れるだけでなく、申込みもできるように工夫する。

●責任者の感想

今までは、何かして欲しい事はありませんかという質問をしていました。最近は保護者の方が夏休み期間中に子どもたちにいろんな事を教えて欲しい等の意見が出るようになってきました。来期は出来るだけそのような意見を汲み取り実施していこうと思っています。